

令和7年度(令和6年度実績)

業務概要



鳥取県立喜多原学園

目次

I 施設の概要

- 1 名称及び所在地
- 2 設置主体及び施設種別
- 3 目的
- 4 敷地平面図
- 5 沿革

II 理念と支援方針

- 1 理念
- 2 支援方針
- 3 令和6年度支援方針及び行動目標

III 職員及び児童の状況

- 1 職員について
 - (1) 職員定数及び組織図
 - (2) 勤務体制
- 2 児童について
 - (1) 在籍児童数の推移
 - (2) 退所児童の状況（退所先、進路）
 - (3) 年度中在籍児童の入所理由
 - (4) 年度中在籍児童の入所経路及び措置変更元
 - (5) 年度中在籍児童の担当児相
 - (6) 年度中退所児童の在籍期間
 - (7) 年度中在籍児童の虐待認定児童数
 - (8) 年度中在籍児童の精神的、心理的な特別なケアをしている児童数
- 3 家庭との連携
 - (1) 家族との交流（児童）
 - (2) 家庭実習
 - (3) 家族との交流（職員）/喜多原温泉実施状況
- 4 関係機関との連携

IV 学校教育

- 1 教職員
- 2 時間割
- 3 来校状況
 - (1) 参観週間
 - (2) 期末懇談期間
- 4 会議

V 令和6年度事業の実績

- 1 生活時程
- 2 令和6年度年間行事
- 3 寮行事
- 4 スポーツ活動の結果
- 5 文化・芸術、地域交流活動の状況
 - (1) 文化・芸術活動
 - (2) 地域交流活動



- (3) おけいこ
- 6 児童会活動の状況
 - (1) 学園集会
 - (2) 生徒会活動
 - (3) 児童会
- 7 支援の状況
 - (1) ケースカンファレンス
 - (2) 心理面接
 - (3) 受診・通院の状況
 - (4) アフターケアの実績

VI その他

- 1 会議の実績
 - (1) 園内会議の実績
 - (2) 園外会議の実績
- 2 研修
 - (1) 園内研修
 - (2) 児童向け研修
 - (3) 園外研修
- 3 来園
 - (1) 施設概要説明研修
 - (2) 実習生等研修受入れ状況
- 4 訓練等の実績
 - (1) 避難訓練の実績
 - (2) 消防訓練

VII 後援会

- 1 経緯
- 2 令和6年度役員
- 3 総会

喜多原学園園歌

一 青雲光る 大山の

気高き姿 仰ぎつつ

ああ風かおる 窓あけて

吾等は歌う 高らかに

ほほえむ愛の よろこびを

輝け われらの 喜多原学園

二 みどりの風も さわやかに

そびゆる棟は 吾が校舎

ああ夢多き 喜多原の

希望の花を 美しく

教えの庭に いま咲かす

育てよ われらの 喜多原学園

三 白波よせる 日本海

しぶきをあげて 呼ぶところ

ああひとすじに 歩みゆく

心はおどる この明日

あこがれ燃ゆる 若人だ

栄よ われらの 喜多原学園

I 施設の概要

1 名称及び所在地

名称 : 鳥取県立喜多原学園
所在地 : 鳥取県米子市泉706

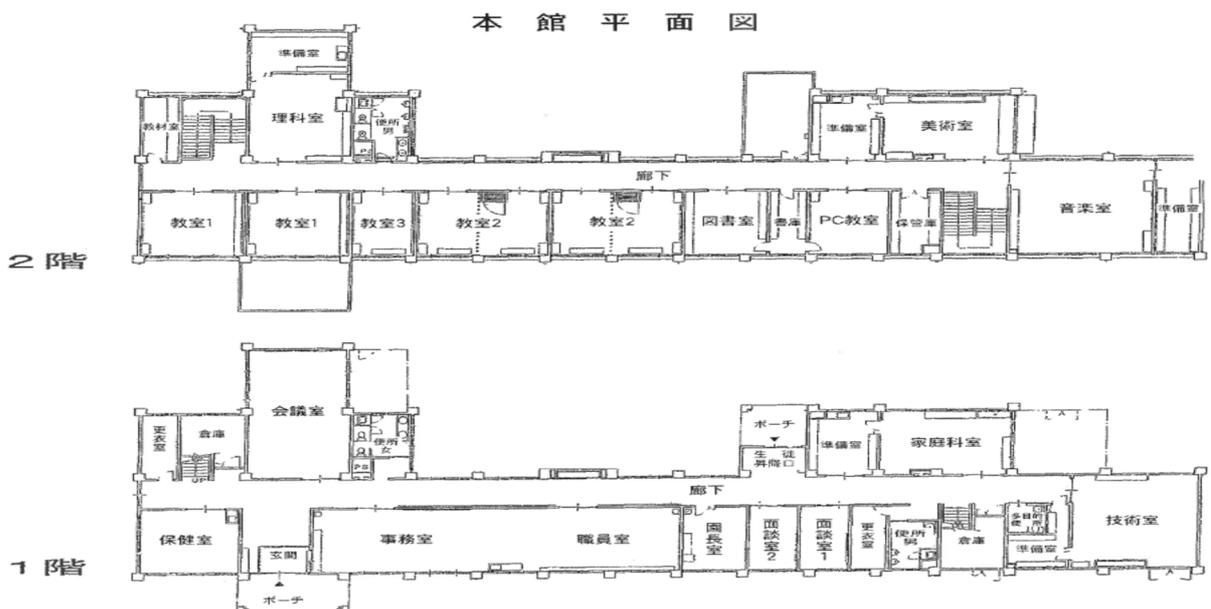
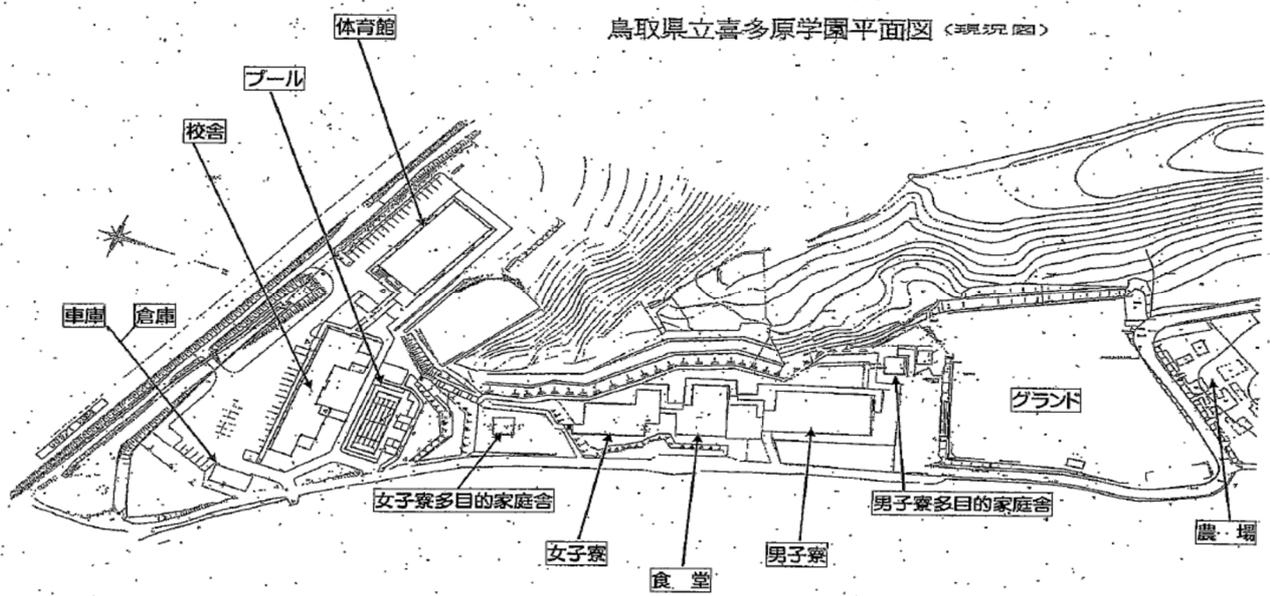
2 設置主体及び施設種別

設置主体 : 鳥取県
施設種別 : 児童自立支援施設 (根拠法: 児童福祉法第44条)

3 目的

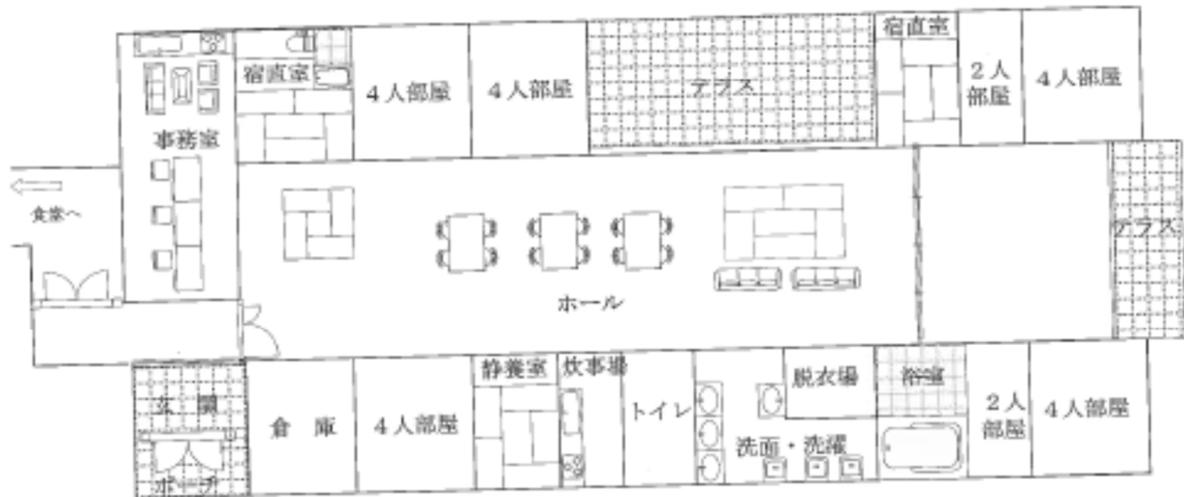
児童福祉法第44条に規定する児童自立支援施設で、「不良行為をなし、又はなすおそれのある児童及び家庭環境その他の環境上の理由により生活指導等を要する児童を入所させ、又は保護者の下から通わせて、個々の児童の状況に応じて必要な指導を行い、その自立を支援すること」を目的とする

4 施設平面図

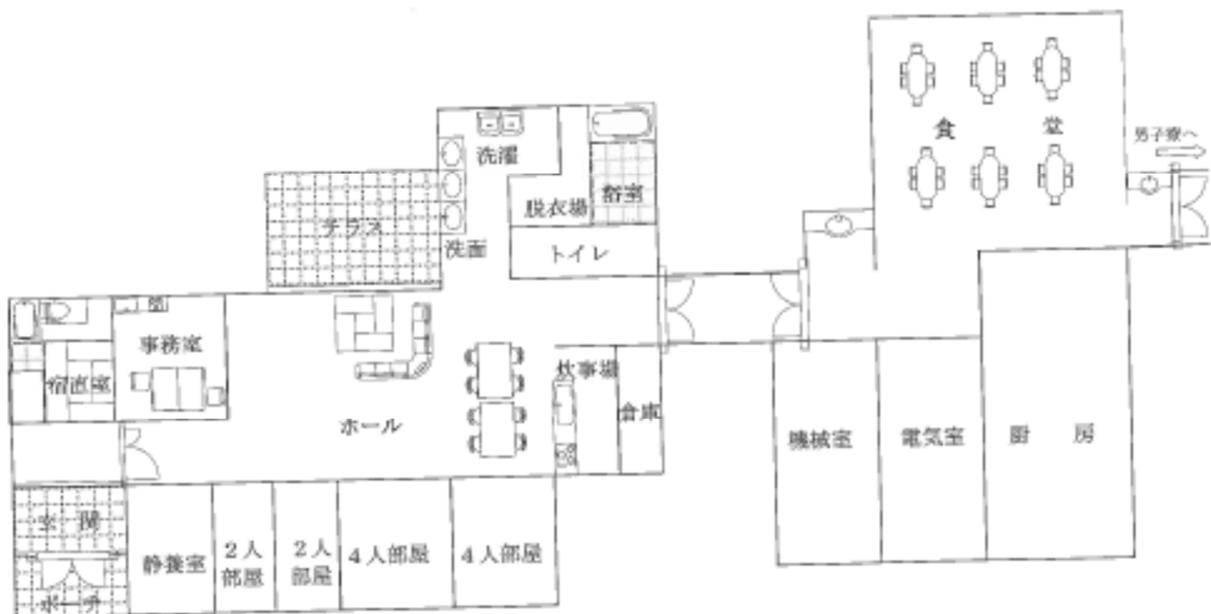




男子寮



女子寮・食堂



5 沿革

(1) 創設

明治33年の感化法制定により感化院の設置が義務付けられ、鳥取県においては明治42年に現在の米子市東福原の地に県立奨業園が開設され、現在の児童自立支援事業の礎が打ち立てられた。

その後、明治・大正・昭和・平成の4代にわたり社会的背景の変遷を反映しながら、感化法・少年教護法・児童福祉法と法令の変遷を踏まえながら、一貫してたゆみない努力と人間味豊かなふれあいによって、子どもたちの健全育成と自立支援に努めてきた。

(2) 沿革

明治42.11.11 県立奨業園として西伯郡福米村東福原に設置された。敷地2,456坪、農地640坪。

大正2.4.1 県立を廃止し、私立奨業園と改称した。

15.7.17 再び県立となり、奨業学校と改称した。

昭和9.10.10 少年教護法の施行により、教護院県立奨徳学校と改めた。

23.1.1 児童福祉法の施行により、児童福祉説 教護院県立奨徳学校となった。

27.5.11 本館（2階建て、スレート葺、モルタル仕上げ）完成

40.12.23 西伯郡伯仙町喜多原に移転。昭和41.1.1 名称を喜多原学園と改称。

45.7.13 第2号棟を休止し、第7号棟を開設（男子寮）

48.7.18 「喜多原だより」第1号発刊。

50.4.1 第4・5号寮を休止。男子寮4か寮となる。

54.3.23 農場に梅の木50本を植える。

54.10.16 創立70周年記念後援会事業として、本館前に記念碑を建立。11.13 除幕式。

62.4.24 創立80周年記念事業テニスコート完成式。

平成4.12.17 喜多原学園改築検討委員会開催

8.4.1 園内居住から通勤交代制へ移行。福生東小学校、福生中学校分教室開設。

10.4.1 児童福祉法改正により、「教護院」から「児童自立支援施設」へ名称変更。

10.4.30 新寮舎、食堂、多目的家庭舎完成（定員：男子寮24名 女子寮12名）

16.3 喜多原学園改築基本計画策定

16.4.1 福生中学校分教室を「福生中学校いずみ分校」へ改組。

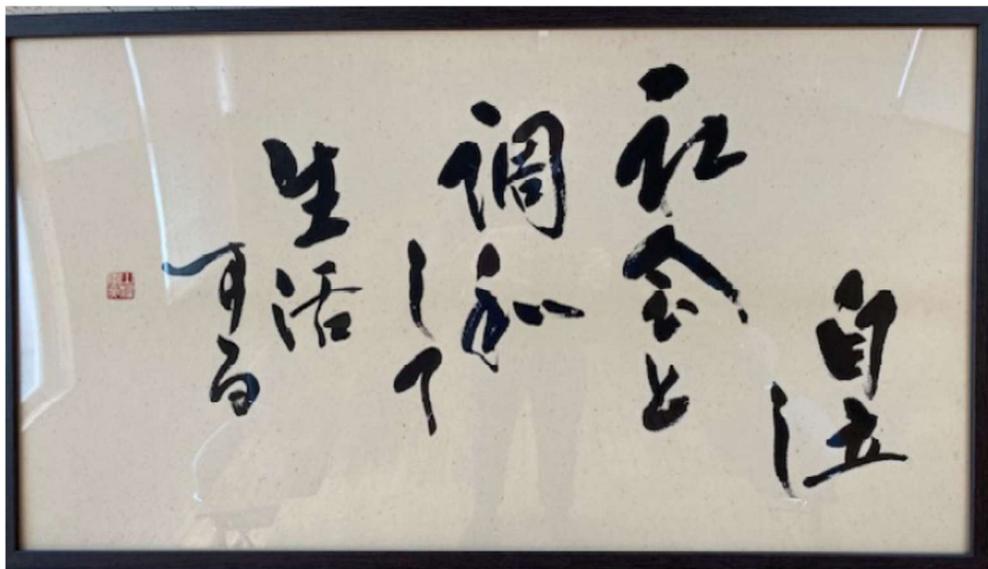
19.11.14 新体育館完成

20.12.24 新プール完成

21.4.1 給食業務外部委託開始

21.4.30 新本館完成

21.11.11 創立100周年記念



Ⅱ 理念と支援方針

1 理念

「自立し、社会と調和して生活する」

子どもが自立するには、子どもの心に「自信」や「自尊感情」が生まれることが大切である。

そして、子どもが社会と調和して生活するには、社会に対して「安心感」や「帰属意識」「貢献感」を得ることが大切である。

2 支援方針

- (1) 安定した生活と、子どもの自主性を大切にする。
- (2) 個別支援と集団支援のバランスを大切にする。
- (3) 学園が有する環境を大切にする。

(1) 安定した生活と、子どもの自主性を大切にする

子どもの心に自信や自尊感情が生まれるために、子どもに安定した生活を提供しなければならない。そのためには、職員が一人ひとりの子どもを受容し、真摯に向き合い、理解し、関係を深めることを心がけることが大切である。職員と子どもとの関係性だけではなく、常に子ども同士の関係性、職員同士の関係性（子どもを支援する上での組織的な関係性）を考え、深めていくことで、初めて子どもの生活の安定性を確保した支援が可能となる。

また、子どもの自主性を大切にして、学園生活において発生する約束事は、出来るだけ少なくするよう心がけなければならない。やむを得ず、約束事を設ける場合も押し付けや管理のためではなく、子どもが気持ちよく生活するために必要なルールという認識を職員も子どもも持つことが必要である。

(2) 個別支援と集団支援のバランスを大切にする

子どもの社会性を培うための支援のあり方として、個別に支援する方法も重要であるが、従来から言われてきた集団として支援する方法（グループワーク）も重視すべきである。個別に支援する方法と集団として支援する方法は、車の両輪であるため、どちらに偏重しても支援はうまく行かない。

個別支援によって、子どもの自信や自尊感情を育み、子どもが持つ自立する力を引き出すと共に、良い影響を与えられる集団作りを行い、その集団に子どもが帰属意識を持ち、安心して過ごせる居場所となるよう支援することが大切である。集団が持つ影響力も活用しながら、子どもが生活の中で他者を尊重し、集団に貢献する気持ち、問題を解決する力などの社会的スキルを学び、社会と調和して生活することができる土台を身につける支援を行う。

(3) 学園が有する環境を大切にする

喜多原学園には、豊かで美しい自然環境があるが、この自然環境も含めて、学園の物的環境（寮舎、校舎、グラウンド、体育館など）や人的環境（職員、子ども、家族、関係機関など）を大切にし、職員が率先し、子どもと共にこれらの環境の整備や調整に心がける。そうすることで、学園全体に一体感が醸成され、園内が愛情と理解のある雰囲気満たされる。

結果的に、学園の環境は、子どもの健全な育みの場として、理想的な空間となる。

子どもは、そこで生活することによって、自然と自信や自尊感情が生まれ、社会に対しての安心感や帰属意識、貢献感を得ることとなる。

R6年度 喜多原学園児童支援方針

理念：自立し、社会と調和して生活する

テーマ：子どもが安心して、生活が送れる環境づくり

「安心」：衣食住が満たされ、自由に自分が出せる場。守られていると感じられる場。

「生活」：健康で、日課に沿って過ごすことができる。精神的に安定して過ごすことができる。

【職員の姿勢】

- 子ども、保護者をしっかりと理解し、アセスメントする。自立支援計画を立て、定期的に見直す。
- 決して怒らない。説明をきちんと丁寧に行う。正直である。
- 面倒くさがらない。あきらめない。何事も最後まで、前向きに取り組む。約束を守る。話を聴く。
- 子どもの権利を侵害しない。子どもの気持ちを尊重する。子どもを信じる。

【子ども】

◆支援目標：入所に至った課題に向き合い、自信を持って、積極的に、前向きに生活を送ることができる。相手を理解し、思いやることができる。

課題	支援方法（例）
<ul style="list-style-type: none"> ・入所理由を意識できていない。 ・語彙が少なく、コミュニケーションが苦手 ・すぐにイライラする。感情のコントロールが苦手。 ・「考える」ことが苦手 ・問題解決能力が稚拙。人のせいにする。 ・自尊心が低い。 ・学力が低い。 ・愛着未形成。スキンシップ不足。 	<ul style="list-style-type: none"> ○定期面接：課題や生活についての振り返りと次の目標 ○コグトレ、朝読書、子ども新聞 ○性暴力防止プログラム、暴力防止プログラム、アンガーマネジメント、ストレスマネジメント、「喜多原温泉」 ○生活や体験を通しての感情表現の広がり ○心理面接、ソーシャルスキルトレーニング ○「褒められる、認められる、役立つ、達成する」を味わう。 ○虐待をしない。子どもに被害の再現をさせない。 ○子どものモデルであるという意識。約束を守る。一貫性。 ○毎日の登校、学習する環境整備

【保護者】

◆支援目標：子どもが行為に至った背景やメカニズムを理解し、子どもを信じ、肯定的に捉えることができる。

課題	支援方法（例）
<ul style="list-style-type: none"> ・子ども自身を受け入れることができない。怖い。 ・親が自身の課題に気付いていない。 ・子どもの悪い面しか目がいけない。 ・すぐにイライラする。感情のコントロールが苦手。 ・かかわり方がわからない。 	<ul style="list-style-type: none"> ○子どもの生活の様子、成長した姿を定期的に伝える。（電話、来園、喜多原たより、ホームページ等） ○参観週間案内、行事参観案内 ○定期面接、家庭訪問：入所に至った背景を再度振り返る。今後の受け入れ準備を整える。 ○計画的・意図的な親子交流。家庭外泊。 ○アンガーマネジメント、ペアレントトレーニング、子どもの特性理解、「喜多原温泉」。 ○子どもの視点変換。（いい面を見つけていく。気づく。）

【地域・原籍校】

◆支援目標：子どもの変化を感じ、子ども自身のよさを知り、地域や学校で子どもを育てる、受け入れる体制を整える

課題	支援方法（例）
<ul style="list-style-type: none"> ・子どもの様子が入所前で止まってしまっている。 ・受け入れる気持ちが持てない。 ・子ども個人の課題としか思っていない。 	<ul style="list-style-type: none"> ○子どもの生活の様子、成長した姿を定期的に伝える。 ○参観週間への参加呼びかけ ○「非行のメカニズム」講座等学校等への出張講義。 ○子どもの受け入れ準備を整える。 ○施設（喜多原学園）理解。施設準開放。

令和6年度 喜多原学園 児童支援行動目標

理念

子どもが自立し、社会と調和して生活することを支援する。

＜支援方針＞

1 安定した生活と子どもの自主性を大切にする

- よく食べ、よく寝て、よく遊び、よく学ぶ環境を作る。日課に沿った生活を送ることができるようにする。
- まずは子どもの意見を聞く。物事を決める際も子どもに意見を求める。
- 子どもにきちんと丁寧に説明する。
- 子ども自身が考える機会を与える。
- 子どもに誠実に対応する。約束は守る。
- 学習にしっかりと取り組む仕掛けを作る。
- 家族との交流機会を作る。

2 個別支援と集団支援のバランスを大切にする。

- 定期的に自立支援計画について協議し、見直す（意図的によい面を引き出す工夫）
- 個別で関わる時間を設ける（面接、作業、遊び、学習など）
- 子どもの長所、得意分野を把握し、活動のリーダーとして役割を与える。
- 児童間の問題、トラブルは児童間で解決させてみる。考える時間を与える。
- 子どものよい面を見出し、褒める、認める。
- スポーツ、イベントに積極的に取り組む。
- 集団の中での役割、立ち位置、責任を意識し、取り組む。

3 学園が有する環境を大切にする。

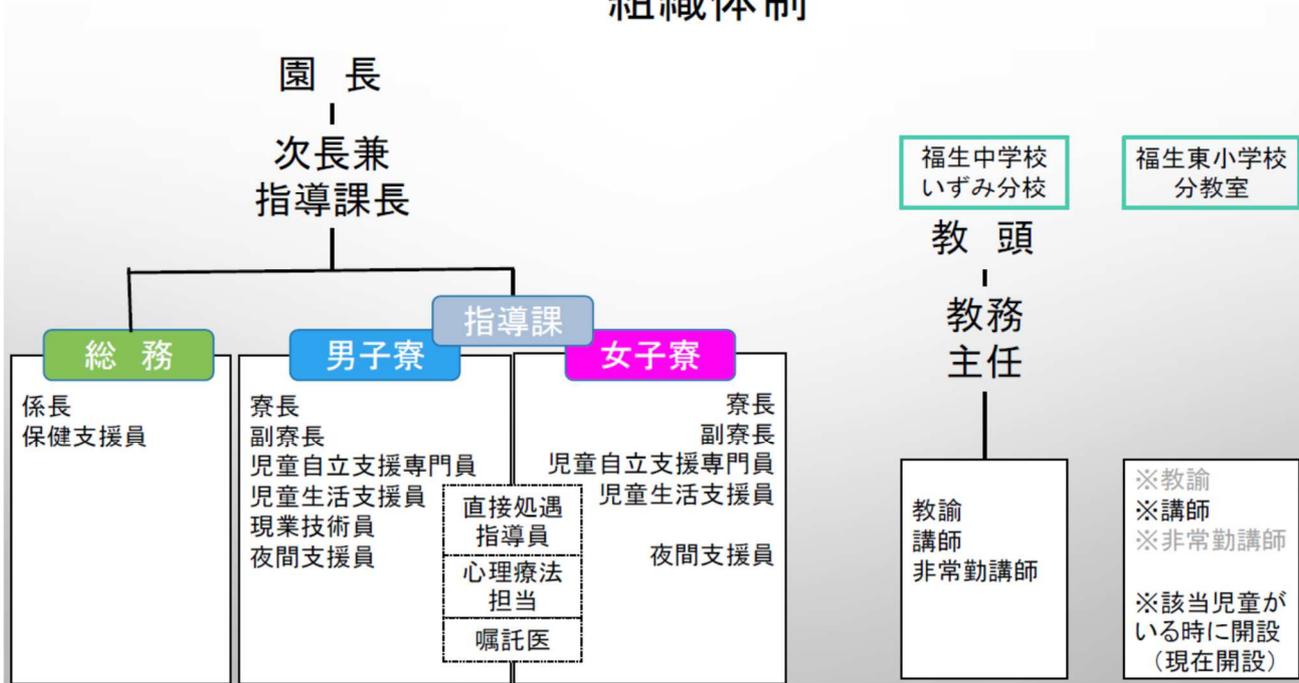
- 職員の長所、得意分野を把握し、職位や寮の壁を取っ払って、その能力を活用する。（職員カルテ）
- 園長以下職員が何事も積極的に参加、取り組む。
- チームで相談し、意見を出し合い、取り組んでいく。
- 敷地内の清掃や寮内の整理整頓等環境美化に取り組み、明るく見晴らしの良い施設を維持する。
- 子どもも職員も物は大事にする。修繕が必要な個所、物が壊れたときにはすぐに対応する。

Ⅲ 職員及び児童の状況

1 職員について

(1) 職員定数及び組織図

組織体制



(2) 勤務体制

	勤務時間	4:00	5:00	6:00	7:00	8:00	9:00	10:00	11:00	12:00	13:00	14:00	15:00	16:00	17:00	18:00	19:00	20:00	21:00	22:00	23:00	0:00	1:00	2:00	3:00	
A:早番	6:30-15:15																									
C:日勤	8:30-17:15																									
D:遅番	13:15-22:00																									
E:宿直	8:30-22:00																									
B:泊明	6:30-9:30																									
F:休日早番	7:30-16:15																									
夜間支援員	17:00-8:30																									

- メインは、C(日勤)、D(遅番)、E(宿直・明け)の3種類の勤務時間で組んでいる。
- この勤務時間で、土日、休日も含め、365日、24時間常に複数の職員で対応できるようにローテーションを組んでいる。
- 行事があったり、体調不良児童がいる場合は、多くの職員を配置する。
- 現業技術員と会計年度任用職員も含めてローテーションを回している。
- 協議や会議を行うこともあり、宿直明けや勤務前の実施となり、断続勤務となることがある。
- 夜間支援員は月8回以内(または16回以内)の勤務を条件に、大学生(島大)を会計年度任用職員として雇用。

2 児童について

(1) 在籍児童数の推移

月	4月			5月			6月			7月			8月			9月																				
	男子			女子			男子			女子			男子			女子																				
校種	小	中	他	小	中	他	小	中	他	小	中	他	小	中	他	小	中	他	小	中	他	小	中	他												
初日児童数	1	5	1	0	3	1	1	5	1	0	3	1	1	5	1	0	3	0	1	7	1	0	3	0	1	7	1	0	3	0	2	7	1	0	3	0
	7			4			7			4			7			3			9			3			9			3			10			3		
入所	①	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
退所	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
月末児童数	7			4			7			3			9			3			9			3			10			3			10			3		
	11						11						10						12						12						13					

月	10月			11月			12月			1月			2月			3月																			
	男子			女子			男子			女子			男子			女子																			
校種	小	中	他	小	中	他	小	中	他	小	中	他	小	中	他	小	中	他	小	中	他	小	中	他	小	中	他	小	中	他					
初日児童数	2	7	1	0	3	0	2	7	1	0	3	0	2	7	1	0	3	0	2	7	1	0	3	0	2	7	1	0	2	0					
	10			3			10			3			10			3			10			3			10			2							
入所	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0					
退所	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	①	0	0	②	①	0	②	0			
月末児童数	10			3			10			3			10			3			10			2			7			0							
	13						13						13						13						13						12				

※○数字：初 日 入 所：初日入所児は、初日児童数に含める。

※●数字：初日以外入退所：入所児は、初日児童数には含めない。退所児は初日児童数に含めている。

(2) 退所児童の状況：対象児童数7人

退所先	家庭	他施設	里親	自立援助ホーム	その他	計
男子	3	0	0	0	0	3
女子	1	1	0	0	2	4
計	4	1	0	0	2	7

進路	復学（転校）	高校進学	就職	無職	その他	計
男子	1	2	0	0	0	3
女子	2	1	0	0	1	4
計	3	3	0	0	1	7

(3) 年度中在籍児童の入所理由（※複数理由児もあり）

年度	男女別	入所理由												合計	
		強盗等	暴力非行	窃盗	放火・火遊び	薬物非行	家庭内非行	校内非行	施設不適応	家出・浮浪・徘徊	性非行	不良交遊	生活指導を要する		その他
R6	男		4	5			5	2	3	5	1				25
	女			2			1		1	1	1	1		7	

(4) 年度中在籍児童の入所経路及び措置変更元

年度	男女別	入所経路			措置変更元				
		児相措置	家裁決定	児童自立支援施設	児童養護	心理治療	ファミリーホーム	里親	その他
R6	男	9	1	1				2	
	女	3	1					2	

(5) 年度中在籍児童の担当児相

年度	男女別	県内児相									県外児相		
		中央			倉吉			米子					
		小	中	他	小	中	他	小	中	他	小	中	他
R6	男	1	3				1	1	4				
	女								2			1	1

(6) 年度中退所児童の在籍期間 対象児童数：7名

	6月未満	1年未満	1.6月未満	2年未満	2.6月未満	3年未満	3.6月未満	4年未満	4年以上	計
男			2		1					3
女			2	1		1				4
計			4	1	1	1				

(7) 年度中在籍児童の虐待認定児童数

	認定				入所後に判明			
	身体	性的	ネグ	心理	身体	性的	ネグ	心理
男	2			2				
女	1			1				
計	3			3	0	0	0	0

(8) 年度中在籍児童の精神的、心理的な特別なケアをしている児童数

	ADHD	反抗挑戦性障害	自閉スペクトラム症	LD	知的障害	てんかん	統合失調症	躁うつ病 うつ病	素行障害	その他
男	9	1	5		1				2	2
女	2		1		1					
計	11	1	6		2				2	2

3 家庭との連携

(1) 家族との交流（児童）

（単位：人）

	電話	面会	家庭舎交流	外出	計
男子	175	49	4	31	259
女子	57	26	18	8	109
計	232	75	22	39	368

(2) 家庭実習

（単位：人）

	家庭実習			計
	1泊	2泊	3泊以上	
男子	13	20	20	53
女子	1	1	1	3
計	14	21	21	56

(3) 家族との交流（職員）

（単位：人）

	電話	家庭訪問	来園面接	計
男子	391	38	164	593
女子	139	17	41	197
計	530	55	205	790

※ 喜多原温泉実施状況

「喜多原温泉」とは

- ・保護者が子どものよい面、強みを再発見し、子どもとの関係の再構築、子ども理解を深める家族調整支援に関するプログラムで、実際にあった困ったエピソードから子どものよさや強みを見出す「エピソードカンファレンス」と子どもとコミュニケーションをとるのに必要なスキルを身につける「みる・きく・はなす」の2部構成となっている。「保護者が安心してくつろいで子どもについて考える場をつくる」という趣旨から「喜多原温泉」と命名した。当園では、職員の支援の振り返りにも活用している。

対象者	保護者	児童	園内職員研修	講師
回数	7回	12回	26回	神戸市立若葉学園 3回 島根県健康福祉部青少年家庭課 1回 徳島児童ホーム 1回

4 関係機関との連携

（単位：日）

	電話	機関訪問	来園	同行	その他	計
児相	340	23	178	11	2	554
原籍校	6	1	15	0	0	22
警察	4	11	1	0	0	16
家裁	1	0	0	0	0	1
施設	7	9	4	0	4	24
里親・FH	86	7	18	0	1	112
その他	60	28	85	1	1	175
計	504	79	301	12	8	904

IV 学校教育

1 教職員

中学校：米子市立福生中学校いずみ分校

小学校：米子市立福生東小学校



区分		教員数	特別支援学級			研修科
		児童数	通	情	知	
教員		中：11 (うち外部：3) 小：2				
小学校	1					
	2					
	3					
	4					
	5	1			1	
中学校	6	1		1		
	1					
	2	6	3	2	1	
中卒	3	4	3	1		
		2				2
児童合計		14	6	4	2	2

2 時間割

朝学活	8:45～8:50
1時限目	8:50～9:35
2時限目	9:40～10:25
3時限目	10:30～11:15
4時限目	11:20～12:05
終学活	12:05～12:15
昼休み	12:15～13:15
5時限目 喜多原タイム(火・木)	13:15～14:00
6時限目(月・水・金) ※1/M月曜は、学園集会	14:10～14:50
掃除(火・金)	14:00～14:10
掃除(月・水・金)	14:50～15:00

※ いずみ分校での時間割は、曜日によって、多少変わる。
 ※ 中卒生は、塾講師等による学習支援が、中学生と同じ時間で行われている。

※ 7月から水曜、金曜の6時限目を設定追加。

※ 3学期にはテスト前2週間をテスト勉強期間とし、授業終了後1時間程度、勉強会を試行的に設定。

3 来校状況

(1) 参観週間

①R6. 6. 19 (月) ～23 (金) ②R6. 10. 28 (月) ～11. 1 (金) ③R7. 2. 17 (火) ～21 (金)

(2) 期末懇談期間

①R6. 7. 12 (金) ～18 (木) ②R6. 12. 19 (木) ～ 24 (火) ③R7. 3. 17 (月) ～19 (水)

4 会議

(1) いずみ分校の運営に係る関係機関連絡協議会 未開催

V 令和6年度 事業の実績

1 生活時程

日課(平日)		日課(休日)	
6:45	起床・洗面 ※女子は朝食準備	7:45	起床・洗面 ※女子は朝食準備
7:00	朝食	8:00	朝食
8:35	登校	9:00	・学習
8:45	朝学活		・作業
8:50	授業		・余暇 ※女子は2/Mおけいこ
12:20	昼食	12:20	昼食
13:15	授業	13:00	
14:55	掃除/終わりの会		・運動(体育館、グラウンド、プール等)
15:15	下校		・LST、外出、散歩、寮行事等
15:30	おやつ/休憩 喜多原タイム(スポーツ・作業等)		・余暇、自由時間
17:00	清掃・宿題・入浴 ※夜会(男子)	17:00	清掃・宿題・入浴 ※夜会(男子)
19:00	夕食・自由時間 ※男子:18:40	19:00	夕食・自由時間 ※男子:18:40
21:00	居室入室 ※20:30夜会(女子)	21:00	居室入室 ※20:30夜会(女子)
22:00	消灯	22:00	消灯

2 令和6年度年間行事予定

月	学園	分校
4月	1日:着任式 11日:観桜会 26日:種まき	9日:始業式、着任式 17日:わらび採り 26日:遠足(とっとり花回廊)
5月	1日:着任式 16日:保育園交流(芋苗植え) 30日:田植え	22日:学力診断テスト① 27日:中間テスト 29日~31日:中3生修学旅行(大坂・京都)
6月		13日:学力診断テスト② 14日:漢検① 17日~21日:参観週間①
7月	2日:プール掃除 9日~11日:中国地区野球大会(島根県)	1日~2日:期末テスト 5日:学力診断テスト③ 19日:1学期終業式
8月		26日:2学期始業式 29日:学力診断テスト④
9月	19日:稲刈り体験	
10月	3日:保育園交流(日程変更) 4日:大山登山(天候不良で未実施) 10日:脱穀(天候不良で未実施) 17日~18日:中国女子バレーボール大会(鳥取県)	9日:学力診断テスト⑤ 11日:中間テスト 10日~11日:小6生修学旅行(岡山市) 24日、29日、31日:ダンス講習 25日:漢検②
11月	1日:園遊会 8日:中国地区駅伝・マラソン大会(岡山県) 24日:創立記念マラソン	7日:学力診断テスト⑥ 28日~29日:期末テスト
12月	10日:サックス演奏会 17日:保育所交流(レク) 25日:クリスマス会 26日:犬とのふれあい 27日:もちつき	3日:学力診断テスト⑦ 25日:2学期終業式
1月	7日:とんどさん 17日:スキースノボ体験① 31日:スキースノボ体験②	7日:3学期始業式 8日:学力診断テスト⑧
2月		7日:漢検③ 27日:期末テスト
3月	11日、13日:未来のパパママ講座 31日:学園職員離任式	12日:小中卒業を祝う会 24日:修了式、分校教員離任式

3 寮行事

月	男子	女子
4月	20日：古代エジプト美術館展（県立博物館）	27日：サントリー工場見学
5月	26日：カラオケ	GW企画：ピクニック、アイス作り、 11日：いちご狩り
6月	8日：釣り 11日：マラソン大会&外食	16日：由志園
7月	28日：DVD レンタル	20日：釣り
8月	5日：海水浴、魚釣り お盆企画：パフェ作り、縁日、花火、花火鑑賞	8日：海水浴 24日：調理、肝試し
9月	29日：カラオケ	21日～22日：キャンプ
10月	12日～13日：キャンプ 13日：おやつ購入（ソフトクリーム）	20日：外食（焼肉）、DVD鑑賞
11月	24日：外食（焼肉）	30日：ドライブ、散策（水木しげるロード、夢みなどタワー）
12月	21日：カラオケ 年末年始：DVD鑑賞、温泉入浴、初詣	22日：映画鑑賞、花火 年末年始：DVD鑑賞、温泉入浴、初詣、お菓子作り
1月	12日：外食（マクドナルド）、DVD鑑賞	18日：カラオケ
2月	23日：ボウリング 24日：クレープ作り	22日：美術館、図書館巡り
3月	9日：外食（バイキング） 春休み行事：明石焼き	18日：お別れバレーボール大会 20日：外食（バイキング）、カラオケ

4 スポーツ活動の結果

大会名	開催日	場所	結果
中国少年野球大会	7/24～26	出雲ドーム（島根県出雲市）	・第4位
中国女子児童バレーボール大会	10/17～18	大山総合体育館（鳥取県大山町）	・オープン参加（全勝）
中国児童 駅伝・マラソン大会	11/8	岡山県立大学内（岡山県総社市）	・中学男子駅伝：準優勝 区間賞：1名 ・中学女子マラソン：優勝
水泳記録会	8月	各施設	
スポーツテスト	5月	各施設	

5 文化・芸術、地域交流活動の状況

（1）文化・芸術活動

- ①12月 中国地区絵画展 5点出展
- ②10/27 大高地区公民館祭り絵画出展
- ③11/1 和太鼓演奏（※園遊会で発表）
- ④11/1 ダンス発表（※園遊会で発表）
- ⑤12/10 サックス・オカリナ・ハーモニカ演奏会（大原氏、鶴木氏、中川氏）

（2）地域交流活動

- ①こたか保育園との交流（年長児9名と交流）
 - ・ 5/16 芋の苗植え（喜多原学園）
 - ・ 10/30 芋ほり（喜多原学園）※予定日は、天候不良のため、園児のみの芋掘りを実施。
 - ・ 12/17 保育交流会（こたか保育園）
- ②10/27 大高地区公民館祭り
- ③11/19 更生保護女性会とのチューリップの球根植え（7名来園）

（3）おけいこ

※月2回、日曜日 9:30-11:30 お茶、お花のお稽古及び書道を実施（女子のみ）
講師：山澤由美子氏

6 児童会活動の状況

(1) 学園集会

- ・月1回（基本的には第3月曜日）14:15～
- ・園長の話、児童の発表、連絡事項、その他（生徒会選挙、生徒会話し合い等）

(2) 生徒会活動

- ・生徒会選挙：5月：会長、副会長それぞれ1名ずつ選出
- ・活動内容：学園集会の司会進行、児童会議の運営、園遊会でのあいさつ及び進行
クリスマス会でのあいさつ及び進行、花壇清掃、活動企画（バレーボール大会）
- ・活動企画：①10/22（火） 15:15-16:45 活動内容：バレーボール（場所：体育館）
※生徒会から活動企画提案があり、実施。

(3) 児童会

- ・毎月2回、寮会の前日に実施。
- ・困っていること、改善してほしいことなどの意見、要望。
- ・給食のメニューについての感想や要望
※これらについては、翌日の寮会で取り上げられ、協議。その結果を寮会終了後即日返答。

7 支援の状況

(1) ケースカンファレンス

- ・助言者：総合療育センター医務部長 佐竹隆宏精神科医（喜多原学園兼務）
- ・実施方法：オンラインによる助言。
- ・実施実績：月1回 計：12回。10:00～11:30

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
男子	24日	22日	26日	24日	21日	25日	23日	—	18日	22日	26日	5日
女子	—	—	—	—	—	—	—	27日	—	—	—	—

(2) 心理面接

- ・心理療法担当職員（会計年度任用職員）
男子：村上 衡 勤務時間：毎週月曜、水曜 13:00～17:00
女子：林 美奈子 勤務時間：毎週月曜 13:00～17:00
- ・実施方法
男子：1日2名の児童に対して、50分程度の個別面接等。
女子：1日2名の児童に対して、50分程度の個別面接またはグループ活動
- ・実施実績（心理療法担当参加回数）
男子：個別：計122回 グループ：実施なし ケースカンファレンス：計11回
女子：個別：計52回 グループ：計7回 ケースカンファレンス：計0回

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
男子	12回	11回	11回	12回	8回	12回	14回	11回	11回	14回	12回	13回
女子	6回	4回	1回	2回	3回	2回	4回	4回	2回	4回	2回	2回

※主な活動内容 個別：面接、プレイセラピー等 グループ：ヨガ、ストレスマネジメント等

(3) 受診・通院の状況

診療科	精神	内科	外科	皮膚科	耳鼻科	歯科	眼科	整形	婦人科	その他	計
男子	55	35	13	6	8	11	11	0	0	24	163
女子	14	13	1	6	2	21	2	0	6	1	66
計	69	48	14	12	10	32	13	0	6	25	229

(4) アフターケアの実績

- ・方法：児童の退所後3カ月、6カ月、9か月、1年、1年6カ月、2年が経過した時点で、担当寮職員が電話連絡等を行い、生活状況を把握する。
- ・活動実績

	男子	県外 再掲	女子	県外 再掲	合計	県外 再掲
対象児童数	22	1	9	2	31	3
訪問による児童、保護者等面談	18	0	14	2	32	2
関係機関との会議（当事者参加を含む）	7	0	11	0	18	0
児童、保護者等の来園	6	0	6	0	12	0
本園への委託一時保護	0	0	0	0	0	0
児童への通話・メール	33	0	13	0	46	0
保護者との通話・メール	36	0	60	4	96	4
関係機関との通話・メール	34	1	100	18	134	19

VI その他

1 会議の実績

(1) 園内会議の実績

①指導課会（※4月は臨時指導課会も開催）

- ・開催頻度：月1回
- ・参加者：園長、次長、各寮職員、福生中学校長、福生中学校いずみ分校教頭、福生東小学校長
- ・内容：連絡事項、当月の予定と行事の確認、主査担当者からの連絡、協議、分校からの諸連絡等。

②寮会（※4月は臨時寮会も開催）

- ・開催頻度：男女とも月2回開催。（基本的に2週間に1回開催）
- ・参加者：園長、次長、各寮職員
- ・内容：連絡事項、当月の予定と行事の確認、行事担当者の割り振り、寮行事、児童の状況・自立支援目標の確認、児童からの要望への対応（生活、行事、給食等）、

③調整会議

- ・開催頻度：随時
- ・参加者：園長、次長、各寮長含む係長級以上の職員（計：7名）
- ・内容：施設・寮の運営に関する方向性の確認、自立支援計画票の確定等

④給食会議

- ・開催頻度：月1回
- ・参加者：次長、給食担当（両寮長、給食担当）、広鉄フーズサービス（佐久田管理栄養士、青戸調理員、中原調理員）
- ・内容：児童からの要望、学園からの要望、業者からの要望・依頼、児童の誕生日料理のリクエスト

⑤自立支援会議

- ・開催頻度：適宜
- ・参加者：各寮職員、措置児相担当者（※場合によっては、児童本人、保護者も入る）
- ・内容：児童相談所担当者との協議

⑥「喜多原学園をよくするワーキンググループ」→ 未実施

⑦支援振り返りシート協議

- ※無断外出、物品窃取、器物損壊等の事案発生後の再発防止のための振り返りの会。
- ・日にち：10/26（木）、10/31（火）

⑧児童福祉行政指導監査

- ・日時：令和6年11月22日（水）13:00-16:00
- ・場所：喜多原学園会議室
- ・実施者：鳥取県子ども家庭部家庭支援課児童養護・DV室

⑨園内権利擁護検討会

- ※R4年度に検討した園内31の権利擁護に関する項目について、具体的に取り組むための検討会
- ・日時：①1/11（土：書面）②1/24（金：書面）

⑩苦情解決第三者委員連絡会

- ・日時：①7/17（水）14:00-16:00 ②2/27（木）15:00-16:00
- ・場所：喜多原学園会議室
- ・参加者：第三者委員5名（※2/27は4名）、園長、次長兼指導課長
- ・内容：意見回収の方法等について協議他

⑪施設自己評価園内検討会

- ・第1次自己評価：R6.12.4-R7.1.10
各寮：個人で評価したものをまとめる。
本館：次長兼指導課長、総務担当係長が評価したものをまとめる。
園長：園長個人で自己評価
- ・第2次自己評価：R7.1.14-R7.2.28
9:30-10:30の1時間限定で、各寮代表、次長、園長で評価のすり合わせ。
- ・まとめ：R7.2.28-R7.3.6（※3/6 電子会議室に貼付け、園内共有）

⑫「特別支援日課について考える」

- ・R7.3.7 指導課会内で特別支援日課について職員に話題提供（園長）
- ・R7.3月 児童に対して「日課に関する意識調査（特別支援日課に関する項目含む）」を実施。
※意識調査結果は、R7.4.22 学校の集会内で児童に報告。

(2) 園外会議の実績

①全国児童自立支援施設協議会役員会（主催：全国児童自立支援施設協議会）

- 日時：①令和6年6月20日（木）9:30-12:30
②令和6年11月11日（月）※不参加
③令和7年2月21日（金）13:30-16:15
場所：①埼玉会館 ②武蔵野学院 ③オンライン

②全国児童自立支援施設施設長会議（主催：全国児童自立支援施設協議会）

- 日時：令和6年6月20日（木）～21日（金）
場所：埼玉会館（埼玉県）

③中国地区児童自立支援施設施設長・指導課長協議会（担当：喜多原学園）

- 日時：令和6年4月18日（木）～19日（金）
場所：鳥取県西部総合事務所（鳥取県）

④中国地区児童自立支援施設施設長オンライン会議（主催：育成学校（山口県））

- 日時：①5/13（月）13:30-15:15 ②9/3（火）15:30-16:45 ③2/26（水）15:30-17:00

⑤中四国児童自立支援施設施設長・庶務主任研究協議会（担当：喜多原学園）

- 日時：令和6年9月12日（木）～13日（金）
場所：ホテルハーベストイン米子（鳥取県）

⑥中国地区児童自立支援施設専門委員会

- 日時：①5/10、11 ②9/6、7 ③10/11、12 ④12/6、7 ⑤2/14、15
場所：①成徳学校 ②広島学園 ③育成学校 ④わかたけ学園 ⑤喜多原学園
内容：アセスメント（シートの活用状況）、権利擁護・アドボカシー

⑦児童入所施設協議会（主催：鳥取県社会福祉協議会）

- 日時：①5/24（金）14:00-17:00 ②11/11（月）13:30-15:30
場所：鳥取県福祉人材研修センター

⑧児童相談所とのケース連絡会

- 日時：令和6年10月25日（金）個別：9:00-12:00 合同会議：13:30-15:00
場所：喜多原学園会議室

⑨県立療育関係機関会議（主催：鳥取県子ども発達支援課）

- 日時：令和6年8月30日（金）13:00-15:00

場所：皆成学園会議室

⑩要対協代表者会議

- ・米子市：令和6年6月4日（火） 14:00-15:30 場所：米子市ふれあいの里
- ・境港市：令和6年6月26日（水） 14:00-15:00 場所：境港市役所

⑪生徒指導部会

米子市：3回 境港市：7回 鳥取市：7回

⑫青少年育成会総会

日時：令和6年4月6日（土） 13:30-15:00 ※不参加
場所：大高公民館

⑬西部地区里親会総会（主催：西部地区里親会）

日時：令和6年4月20日（土） 9:00-11:00
場所：米子聖園天使園

⑭社会を明るくする運動米子市推進委員会

日時：令和6年5月28日（火） 10:30-12:00
場所：米子市ふれあいの里4階中会議室

⑮鳥取県西部で子どもの権利擁護を考える会

日時：① 4/30（月） 15:30-16:30 ② 5/29（水） 15:30-16:30 ③ 7/17（水） 15:30-16:30
④ 8/19（月） 10:00-11:00 ⑤ 9/30（月） 10:00-11:00 ⑥ 10/24（木） 13:00-14:00
⑦ 11/27（水） 13:00-14:00 ⑧ 12/20（金） 10:00-11:00 ⑨ 1/14（火） 15:00-16:00
場所：米子児童相談所

⑯オレンジリボンたすきリレー実行委員会（主催：米子聖園天使園）

日時：①5/21（火） 9:00-10:30 ②8/23（金） 9:00-10:30 ③10/25（金） 9:00-10:30
場所：米子市ふれあいの里

⑰オレンジリボンたすきリレー式典（主催：オレンジリボンたすきリレー実行委員会）

日時：令和6年11月4日（土） 8:30-12:30
場所：米子市文化ホール前広場

2 研修

(1) 園内研修

①定例園内研修（指導課会後に実施）

日	内容	講師	日	内容	講師
4月	—	—	10/11	全国児童自立支援施設職員 研修伝達研修	喜多原学園 谷野・中島
5/10	子どもの意見表明について	県家庭支援課 山口陽子係長	11/12	わたしがたり	Being Prem 代表 長谷川理恵氏
6/17	若者のメンタルヘルス	県精神保健福祉セ ンター 原田 豊所長	12/13	障害者差別解消法について	喜多原学園 次長 小泉 浩二
7/17	みるきくはなす	Being Prem 代表 長谷川理恵氏	1/10	中四国児童自立支援施設職 員研修伝達研修	喜多原学園 堀江・上紙・福本
8月	—	—	2/13	施設でのアドボカシーにつ いて学ぶ研修会伝達研修	喜多原学園 上紙・朝倉
9/6	みるきくはなす	Being Prem 代表 長谷川理恵氏	3月	—	—

③大人からのおすそ分け講座

日	内容	日	内容	日	内容
7/24	福本先生の ハッピーラッキークッキー	8/6	朝倉先生の 誰でも簡単エイトビート	8/21	加川寮長のわくわくフワフワパン作り教室
7/31	乗本先生の チクチクエコバック作り	8/7	村上先生の蝶のように舞い、八のように刺すパンポンの極意	8/26	中島先生の ダンスハムニダ
8/1	永田寮長の マッスルエアロボックス	8/9	ボードゲーム部長 影山	12/26	わんちゃんとふれあう ～グループ囲-KAKOI- 仲宗根真恵、山本和美 八田純次、遠藤就起、原幸
8/5	林先生の 知って楽しい自分の感覚	8/19	赤井先生の 足裏マッサージ教室	12/29	堀江副寮長の しめ縄でしめよう

※おすそ分け講座とは

- ・学園職員が得意とするスキルを児童やその他の職員と分かち合う行事。参加は自由・選択制。

③「みるきくはなす」(大人向け講座)

日時：令和6年7月17日(水)、9月6日(金)

場所：喜多原学園会議室

講師：Being Prem 長谷川理恵氏

④「わたしがたり」(大人向け講座)

日時：令和6年11月12日(火)

場所：喜多原学園会議室

講師：Being prem 長谷川理恵氏

④喜多原学園「理念」に関する研修(園内研修)

日時：令和6年11月1日(金)

場所：喜多原学園体育館(園遊会)

テーマ：歌で一致団結！：園遊会で職員全員が児童を含めた来場者の前で歌を披露。

(2) 児童向け研修

①【児童向け】未来のパパ・ママ講座

日時：令和7年3月11日(火)、13日(木) 男女、時間を変えて実施

場所：喜多原学園会議室

講師：鳥取県助産師会3名

(3) 園外研修

①施設視察

視察先：埼玉県立埼玉学園 (令和6年6月21日：全国施設長研修時)

大阪市立阿武山学園 (令和6年9月27日：全国職員研修時)

香川県立斯道学園 (令和6年12月19日：中四国職員研修時)

②全国児童自立支援施設職員研修(主催：全児協、阿武山学園)

日時：令和6年9月25日～27日

場所：大阪市/大阪市立阿武山学園

参加者：職員3名

③中四国児童自立支援施設職員研修

日時：令和6年12月18日(水)、19日(木)

場所：香川県立斯道学園

参加者：職員3名

④福祉教育機関合同研修会（主催：喜多原学園）

日 時：令和7年2月14日（金） 10:00-12:00

場 所：米子市淀江文化センター

講 師：「困難を抱える子どもたちへの教育と福祉の支援連携～その背景をどうとらえるか～」

立命館大学大学院人間科学研究科特任教授 野田 正人氏

参加者：教員、福祉関係者、保育士等 33名

⑤福祉研究発表会

日 時：令和7年3月14日（金） 13:00-17:00

場 所：新日本海新聞社中部支社ホール

参加者：職員2名（※鳥取県西部で子どもの権利擁護を考える会メンバー2名が紙上発表）

⑥鳥取県児童福祉入所施設協議会研修

日 時：①令和6年11月14日（木） ②令和6年12月2日（金） 9:00-17:00

場 所：倉吉体育文化会館

テーマ：アドボカシー

⑦基幹的職員研修（主催：鳥取県家庭支援課）

日 時：令和6年9月3日（火） 13:00-14:30

場 所：オンライン

講 師：喜多原学園長 坪倉嘉隆

3 来園

（1）施設概要説明研修

①中四国児童自立支援施設施設長

日時：令和6年9月13日（金） 9:00-11:30 参加者：16名

②米子市（啓成地区）更生保護女性会

日時：令和7年3月13日（木） 10:30-11:30 参加者：20名

（2）実習生等研修受入れ状況

①県立米子養護学校初任者研修

日時：令和6年6月19日（水） 9:00-16:00 実習者：2名

②美作大学ソーシャルワーク実習

期間：令和6年7月29日（月）～8月26日（月）25日間 実習者：1名

③鳥取短期大学保育実習

期間：令和6年8月19日（月）～28日（水） 10日間 実習者：2名

④児童相談所実習生施設見学

日時：令和6年9月2日（月） 10:00-11:30 受講者：1名

⑤境高校初任者研修

日時：令和6年11月22日（金） 10:00-16:00 実習者：3名

⑥大阪健康福祉短期大学学生保育実習

期間：令和7年1月23日（木）～2月2日（日） 10日間 実習者：1名

4 訓練等の実績

（1）避難訓練の実績

- ・月1回実施。
- ・地震、火災、谷崩落を想定して、避難訓練を実施。実績：12回

（2）消防訓練

①令和6年10月24日（木） 15:00-15:20 場所：本館正面玄関 講師：吉備総合電設

②令和6年12月26日（木） 13:10-14:00 場所：男子寮駐車場 講師：吉備総合電設

Ⅶ 後援会

1 経緯

- ・設置：昭和41年4月1日
- ・目的：喜多原学園の事業を後援し、学園児童の福祉の向上を図ることを目的とする。
 - ・学園運営の協力に関する事
 - ・児童福祉理念の普及支援に関する事
 - ・児童福祉の向上のための支援に関する事
 - ・児童福祉に関する調査研究に関する事
 - ・その他目的達成のために必要な事業に関する事
- ・会員：喜多原学園の事業に協力する者

2 令和6年度役員

- ・会長：赤沢 亮正
- ・副会長：上森 英史、鶴木真理子
- ・事務局長：馬詰 俊哉
- ・委員：関山 公郎 藤原 公仁 森脇 宏 西村 健悟
坪倉 嘉隆 小泉 浩二 永田 博文 加川 綾子
- ・監事：中川 正純 松永 芳久

3 総会

- 日時：令和6年5月18日（土） 10:00-11:15
- 場所：喜多原学園会議室
- 参加者：12名
- 内容：令和5年度事業報告及び収入支出決算報告（会計監査報告）
令和6年度事業計画及び収入支出予算
役員改選について
その他